

令和 2 年度

下水道事業会計決算の概要

水安全部

1 事業の概要（対前年度比）

項目等	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
1 処理区域内人口		131,999人	129,405人	2,594人	102.0%
2 普及率		93.6%	92.0%	1.6pt	101.7%
3 排水量		18,293,360m ³	19,068,786m ³	△775,426m ³	95.9%
4 有収水量		15,217,737m ³	14,902,742m ³	314,995m ³	102.1%
5 有収率		83.2%	78.2%	5.0pt	106.4%
6 使用料単価		74.60円	87.90円	△13.30円	84.9%
7 汚水処理原価		72.72円	77.94円	△5.22円	93.3%
8 経費回収率		102.6%	112.8%	△10.2pt	91.0%

- ・ 処理区域内人口：下水処理が開始されている処理区域に居住する人口
- ・ 普及率：総人口に対する処理区域内人口の割合
- ・ 有収水量と有収率：排水量のうち、下水道使用料徴収の対象となった排水量とその割合
- ・ 使用料単価：排水量1立法メートル当たりの下水道使用料単価
- ・ 汚水処理原価：排水量1立法メートルを処理するために必要な費用
- ・ 経費回収率：汚水処理減価に対する使用料単価の割合

2 決算の概要 収益的収支の概要①

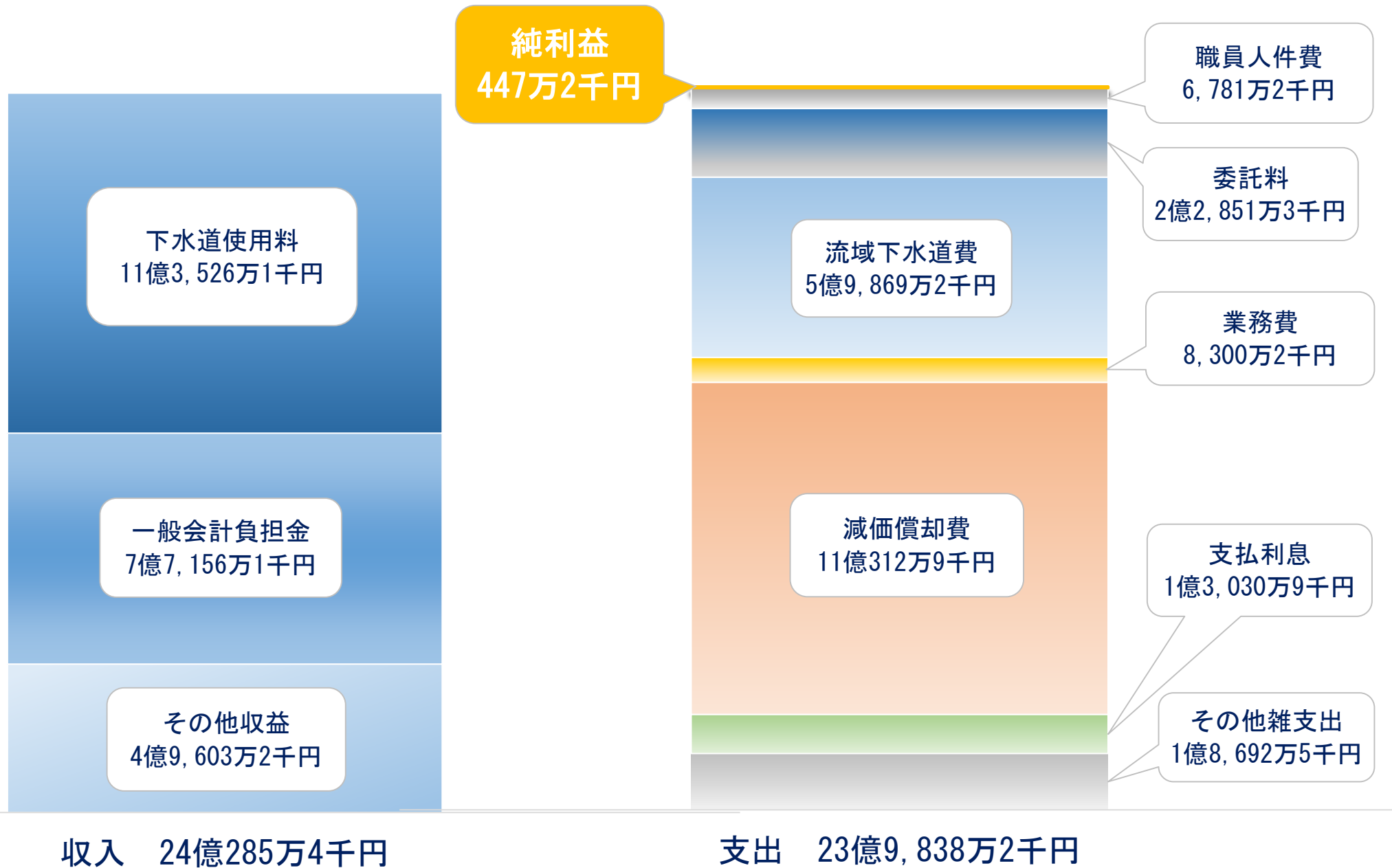
(消費税抜 単位：千円)

科目等		年度	令和2年度決算額 (A)	令和元年度決算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
収益的 収支	収益的収入(a)		2,402,854	2,673,962	△271,108	89.9%
	収 入	下水道使用料	1,135,261	1,309,881	△174,620	86.7%
		一般会計負担金	771,561	850,699	△79,138	90.7%
		その他収益	496,032	513,382	△17,350	96.6%
	収益的支出(b)		2,398,382	2,444,520	△46,138	98.1%
	支 出	職員人件費	67,812	84,399	△16,587	80.3%
		委託料	228,513	237,662	△9,149	96.2%
		流域下水道費	598,692	630,049	△31,357	95.0%
		業務費	83,002	86,590	△3,588	95.9%
		減価償却費	1,103,129	1,094,006	9,123	100.8%
支払利息		130,309	144,951	△14,642	89.9%	
その他雑支出		186,925	166,863	20,062	112.0%	
当年度純利益(c) = (a) - (b)		4,472	229,442	△224,970	1.9%	

○主な増減理由

- ・収入・・・下水道基本使用料4ヶ月分減免による減（163,674千円）及び業務用、工場等の排水量の減
- ・支出・・・総排水量の減少による流域下水道負担金の減、雨水函渠清掃委託料の減
高利率で借入していた過去の借入分の償還が終了したことによる減

2 決算の概要 収益的収支の概要②



2 決算の概要 資本的収支の概要①

(消費税込 単位：千円)

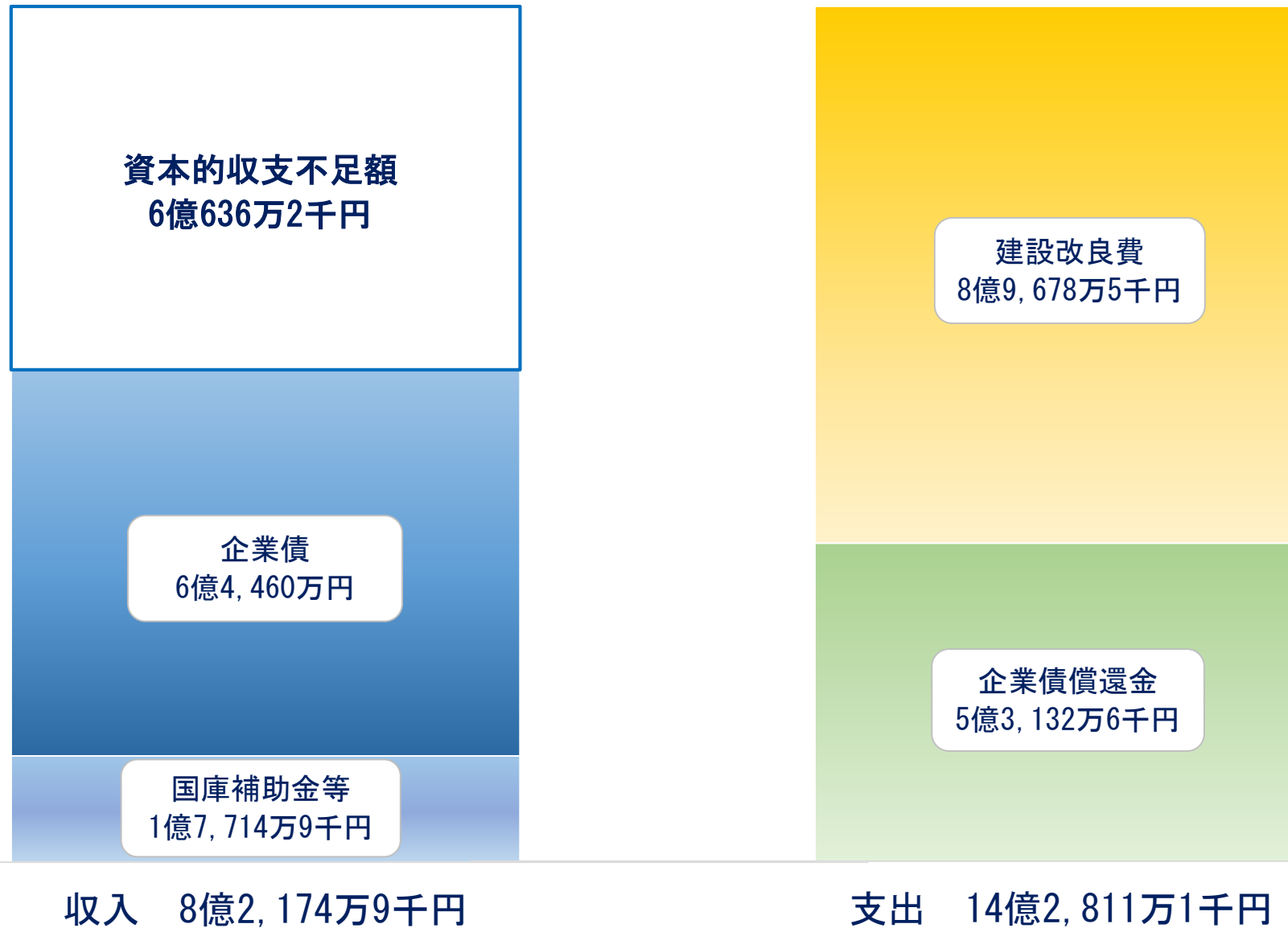
科目等		年度	令和2年度決算額 (A)	令和元年度決算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
資本的 収支	資本的収入(a)		821,749	1,105,776	△284,027	74.3%
	収入	企業債	644,600	993,400	△348,800	64.9%
		国・県補助金等	177,149	112,376	64,773	157.6%
	資本的支出(b)		1,428,111	1,776,049	△347,938	80.4%
	支出	建設改良費	896,785	1,208,699	△311,914	74.2%
		企業債償還金	531,326	567,350	△36,024	93.7%
	資本的収支不足額(c) = (a) - (b)		△606,362	△670,273	63,911	90.5%

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金などで補填しました。

○主な増減理由

- ・収入・・・工事の繰越による企業債借入額の減、国庫補助金の増
- ・支出・・・工事の繰越による

2 決算の概要 資本的収支の概要②



○下水道施設の新設

新曽第一土地区画整理地区及び新曽中央地区内において、汚水管渠の整備を行い、整備率は94.3%となった。浸水対策として、戸田漕艇場周辺や喜沢南にて雨水柵等、戸田公園駅西口緑地にて雨水貯留浸透施設を設置した。

笹目2丁目においては、浸水被害が頻発する箇所にマンホールポンプを整備した。

①汚水築造工事	4 工事 L=2378.8m	362,100,200円
②雨水柵等設置工事	3 工事 雨水柵等51箇所	22,206,800円
③浸水対策工事	貯留量 約227m ³	43,241,000円
④雨水築造工事	マンホールポンプ ^o 1 箇所	62,865,000円